

## 『いいことさがし』



「気持ちのいい朝です。みんなで元気に朝の挨拶をしましょう。お早うございます。」  
(お早うございまあす。)

青空に緑のまぶしい月曜の朝です。清々しい気持ちで月曜朝会の挨拶をしました。早いもので、5月も後半になりました。新学期が始まってひと月半たちました。1年生も2年生も、3年生も4年生も、5年生も6年生も新しい学年、新しい教室にもすっかり慣れて、「ピッカピカの〇年生。」のピッカピッカもとれましたね。

さて、前にも話したように、学校はできないことをできるようにするところという話をしました。この1年間の自分のやってみたいこと。どんなことをできるようにしようか、一人一人の皆さんの、自分のめあて、見つかりましたか。

今日の話は、「いいことさがし」という話をします。

前にお話しした「いいことさがし」は、自分や自分の周りにいる人たちのいいところを見つけて、友達をたくさん作って毎日をもっともっと元気に、仲良く、楽しく過ごそうというお話でした。

『いいことさがし』とは、……。おもしろそうなこと、楽しそうなこと、やりたいなあと思うことは、自分の力で、目で、耳で、見つけよう、という話です。

つまらない、おもしろくない、楽しいことなんてない……。のではなくて、楽しいことやおもしろいことや、自分の得意にできそうなことは、自分で見つけるものです。

さて、ずっと前にいた学校に、体は成長して大きくなるのに、骨がうまく成長していけず、うまく歩けなかったり、骨が折れやすくて、ノートに字を書く時に、力をいれすぎて指の骨が折れてしまうような、そんな大変な病気のお嬢さんがいました。

そのお嬢さんは、病気のせいで、なかなか普通に学校に通うことができず、訪問学級といって先生の方からおうちに訪ねていって、勉強を教えるクラスにいました。そのお嬢さんが、学校に通いたいということで、その学校のすぐ近くに引っ越してきて、学校にも通えるようになりました。お隣のクラスの子でしたが、時間割の都合などで私のクラスに理科と、算数と、国語の授業を受けに来ていました。

いつも元気で、笑顔の素敵なお嬢さんでした。そして、本を読んだり、算数の問題を解いたり、詩や作文を書くのが大好きで、5年生のときには、もう高校生の読むような本や、数学の問題も解いていました。

4年生の頃は杖をつけて自分で歩いていましたが、5年生になると車いすで通うようになりました。その頃から良く骨折してしまい、救急車で運ばれる様子が教室からも見えました。

クラスの子たちは、その様子を視るたびに心配そうにそちらのほうを見つめ、「かわいそう……。」、とつぶやいていました。

でも、このお嬢さんは、  
『私はちっともかわいそうなんかじゃないよ。』といつも言っていました。  
そして、  
『けがしたり救急車で運ばれるのは嫌だけれど、体の具合が悪いのは仕方ないもの。  
でもね、やりたいことがいっぱいあるの。おもしろいことがいっぱいあるの。だから  
かわいそうなんかじゃないよ。走ったり体育をしたりすることは出来ないけど、  
おもしろいことがいっぱいある。  
みんなだって体育が得意でも、算数が苦手とか、あるでしょう。  
私も、体育は苦手、歩いたり走ったりは苦手だけど、楽しいことはたくさんある。  
やりたいこともたくさんある。得意なこともいっぱいある。  
だから、ちっとも「かわいそう」じゃないよ。』  
.....。

いいことさがし、自分の「いいところ」「得意さがし」、ですね。  
同じように、桃五小でも、朝挨拶するとき、いかにも楽しそうな笑顔で挨拶して  
くれる子がいます。何かうれしいことがあるの・・・？と聞くと、それぞれに「今日  
は〇〇が楽しみなんだよ。」とか、その子のうれしそうな気持ちが伝わってきます。  
どうせやるんなら、勉強だって、遊びだって、何だって、楽しんでやりたいですね。  
嫌々やるのも、楽しくやるのも時間は同じ。だから、朝にここにこ顔で楽しみにして学  
校に来る人の顔を見ると、こちらまで元気が出るのです。  
これも、いいことさがし、やりたいことさがし。

自分のやりたいことを見つけて、仲間といっしょに一生懸命に努力するって、とて  
も素晴らしいことですね。  
皆さんは今、自分が夢中になってやりたいこと、ありますか。  
皆さんもいいことさがししてみませんか。

話の聞き方がとても気持ちよい桃五の子たち、笑顔でうなずいてくれました。

